

訪問先について

池田絣工房

筑後市で1919年に創業し、3代目で重要無形文化財久留米絣技術保持者の池田光政さん、4代目の池田大悟さんを中心に久留米絣の生産を行っています。伝統的な藍染手織りの中でもっとも規模の大きな久留米絣織元で、精緻な柄合わせが特徴といえます。藍染体験や見学の受入経験も豊富で、バリアフリー化も進めています。大型バス乗入可能。



工房HP



坂田織物

広川町で1948年に創業し、3代目の坂田和生さんを中心に久留米絣の生産を行っています。藍染め・手織り、化学染料染め・機械織りの両方の行程を見学できる貴重な織元です。敷地内にカフェ&ショップ”Sakata café”をオープンするなど、久留米絣をより身近に感じてもらえるよう積極的に活動されています。大型バス乗入可能。

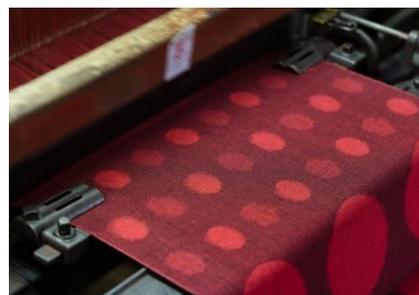


工房HP



丸亀絣織物

広川町で1868年に創業し、5代目の丸山重俊さんが若い職人を中心に化学染料・機械織りの絣を作っています。つまみ染めという手間のかかる技法を得意としており、見学ではつまみ染めを体験することもできます。絣を使った洋服や小物などの商品を作ることに力を入れており、昨年オープンしたショップ「たてよこ STORE+LABO」はお買い物にも最適です。大型バス乗入可能。



工房HP



藍染絣工房

広川町で1891年創業し、4代目の山村健さん、5代目の山村研介さんによる家族経営の藍染・手織りの織元です。久留米絣産地の中でも、特に昔ながらの方法で藍の管理をしています。伝統的なモチーフを解釈して幾何学模様をデザインするなど作家性の高い作品を作っています。季節の花を飾った工房や母屋も見どころの一つです。



工房HP



野村織物

広川町で1898年創業し、野村周太郎さんが4代目を務めています。化学染料・機械織りで、高難度のたてよこ絣や古典的な図柄などをつくる、正統派の織元といえます。長年丁寧に受け継がれてきた工房では、糸の染色から、糸の整経、織りまで、久留米絣のたくさんの工程をまとめて見学しやすい環境が整っています。大型バス乗入可能。



工房HP



下川織物

1948年創業の下川織物は、八女市に唯一残る化学染料・機械織りの久留米絣の織元です。3代目の下川強蔵さんは、国内はもとより、フィンランド、スウェーデンなど海外アーティストやデザイナーとの交流も活発に行い、作品を生み出されています。ザ・リッツ・カールトン福岡にも展示されています。大型バス乗入可能。



工房HP

